

「世界でつながること、地域でつながること」が開催されました。

去る平成 27 年 6 月 4 日に、保健学科国際交流委員会・人文学部共催講座「世界でつながること、地域でつながること」（講師：加藤功甫氏）が開催されました。

加藤さんは、長野県松代町のご出身で、現在は、NPO 法人 Connection of the Children 代表理事、日本スポーツ&ボディ・マイスター協会他、多方面に活躍されています。

横浜国立大学大学院に在学中、2011 年ユーラシア大陸を自転車で横断、そして 2015 年 3 月にサハラ・マラソンを完走しています。サハラマラソンは、過去には行方不明者も出たという過酷な数日間にわたるマラソンです。これらのご経験と現在の Connection of the Children の活動に繋がる軌跡をお話くださいました。

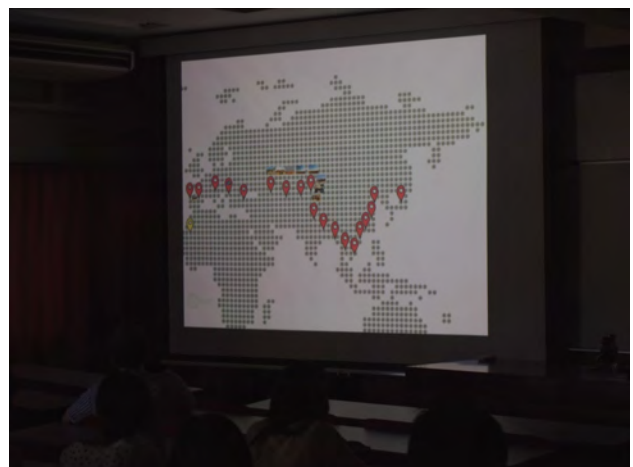
そして、「繋がる」とはあなたにとってどういうことですか？との学生への問いかけを受けて、学生自身にとっての「繋がり」の意味を A3 の紙に書き、発表しあいました。さらに、一人一人に糸をいただき、ユーラシア大陸横断からずっと繋げてもらった糸玉に、講義を聴いた学生の糸も繋がりました。

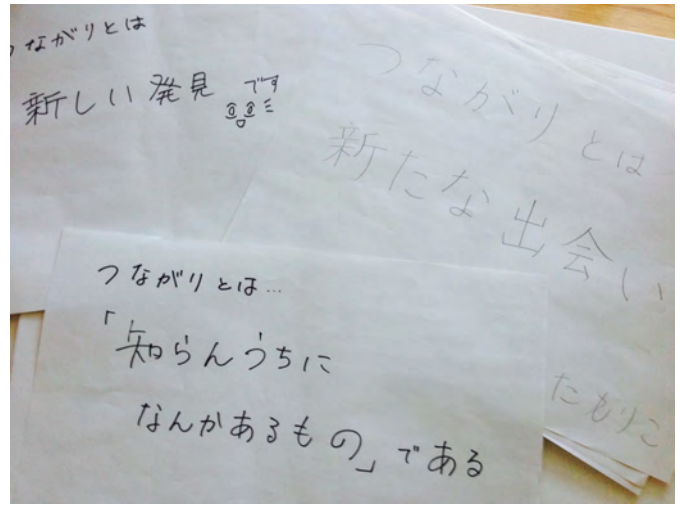
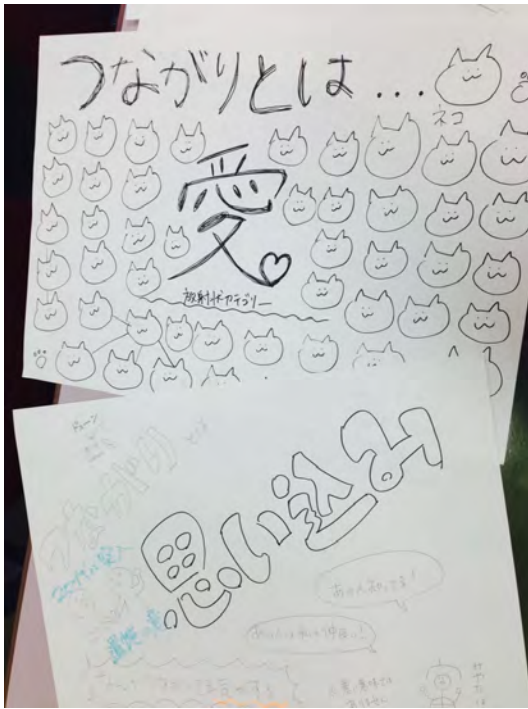


人文サロンにて



人々との出会いの軌跡





学生の書いた「あなたにとって、つながりとは？」



ユーラシア大陸～サハラ砂漠、国内各地、信大の学生の糸も繋がりました。